

# 8B82 クイックマニュアル

## はじめにお読みください

この時計はソーラー駆動の電波修正機能とストップウォッチ機能を搭載しています。日本の電波を受信することができます。センター針で1/5秒単位を計測する本格ストップウォッチ機能を搭載しています。

全国共通フリーダイヤル **0120-612-911**

お客様相談室

〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-1-1 国際ビル

〒550-0013 大阪府大阪市西区新町1-4-24

大阪四ツ橋新町ビルディング

セイコーウォッチ株式会社

本社 〒105-8467 東京都港区虎ノ門2-8-10

http://www.seiko-watch.co.jp

## 1 ご使用にあたって

### ■ 充電を心がけましょう

【光のあたる場所に置く・保管する】 など日常的に十分な充電を心がけましょう。

### ■ 電波を受信しやすくするために

受信のときは、窓際などの電波を受信しやすい場所に置いてください。

安定した状態で電波を受信するために、受信中は時計の向きを変えたり、傾けたりなどせずに、静止した状態にしてください。

※ 電波の状況により最長 12 分かかります。



アンテナは 9 時位置にあります。アンテナ部を窓の外や送信所の方向に向けて置くと、より受信しやすくなります。

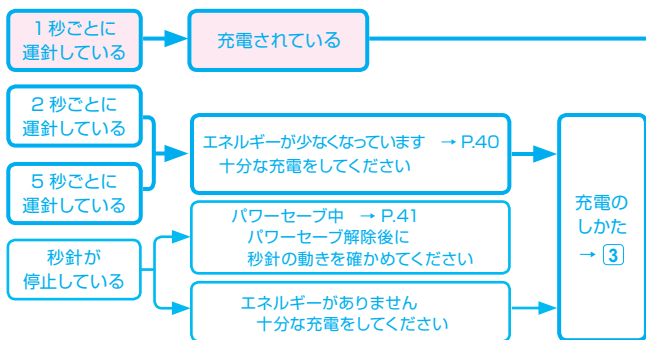
### ■ 電波受信（自動受信、強制受信）をするときは

ストップウォッチをリセットしてください。ストップウォッチがリセットされていないと、電波受信ができません。

## 2 ご使用の前に 取扱説明書 P.12

### ① エネルギー残量を確認する

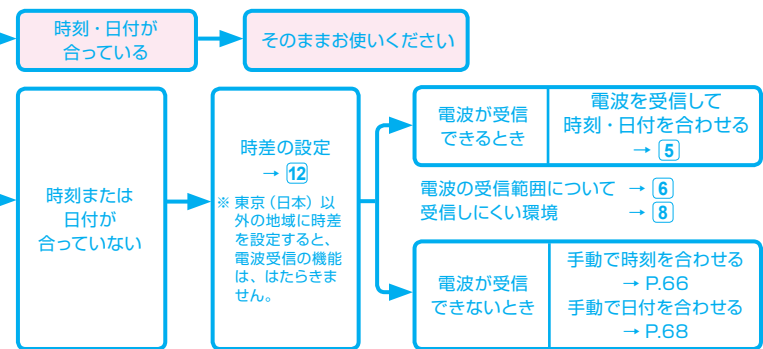
秒針の動きを確認して、エネルギーが不足しているときは充電をしてください。



※ 十分な充電後に 1 秒運針にならないとき → こんなときは「充電」 P.82

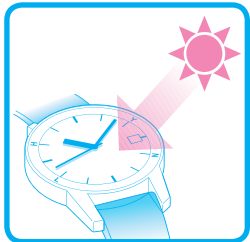
### ② 時刻・日付を確認する

※ この時計は、りゅうずを回しても針が動きません。時刻を修正するときは、下記のページを参照ください。

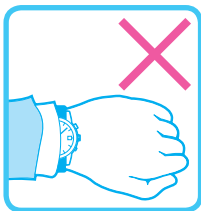


## 3 充電のしかた 取扱説明書 P.38

文字板に光をあてて充電してください。



快適にご使用いただくために、十分な充電をすることを心がけましょう。



時計を身につけているときに服の袖などで隠れてしまう場合、光のあたりにくい環境での継続的な使用や保管などが続く場合は、充電不足による電池切れが起こる可能性が高くなります。



※ 充電の際は、時計が高温にならないようご注意ください。（作動温度範囲は-10℃～+60℃です。）  
※ 使いはじめ、または充電不足で停止していた時計を駆動させるときは、右ページの表をめやすに十分な充電を心がけてください。

## 4 充電にかかる時間のめやす 取扱説明書 P.39

以下の時間をめやすに、充電を行ってください。

照度 lx (ルクス)	光源	環境 (めやす)	フル充電まで	確実に 1 秒運針になるまで ★	1 日ぶん動かすには
500	白熱球	60W 60cm	—	—	6 時間
700	蛍光灯	一般オフィス内	—	—	4 時間
1000	蛍光灯	30W 70cm	—	40 時間	3 時間
3000	蛍光灯	30W 20cm	230 時間	6 時間	1 時間
5000	蛍光灯	30W 12cm	150 時間	4 時間	35 分
1 万	蛍光灯	30W 5cm	60 時間	1.5 時間	15 分
	太陽光	くもり			
10 万	太陽光	快晴 (夏の直射日光下)	30 時間	30 分	3 分

★ この数値は、止まっていた時計に光をあてて、「確実に 1 秒運針になるまで」に必要な充電時間のめやすです。この時間まで充電しなくても 1 秒運針になりますが、その状態ですぐに 2 秒運針になることがあります。この時間をめやすに充電してください。

※ 充電に必要な時間は、モデルによって若干異なります。  
※ 運針については、エネルギー残量を確認してください。 → ② ご使用の前に

## 5 電波を受信して時刻・日付を合わせる 取扱説明書 P.15

### ■ 自動受信

この時計は、決まった時間に自動的に電波を受信して、時刻・日付を合わせます。自動受信は、午前 2 時と午前 4 時に行われます。

- ※ 受信に成功した時点で、自動受信を終了します。
- ※ 電波の状況により、最長 12 分かかります。
- ※ ストップウォッチがリセットされていないと、電波受信・時差修正の機能は、はたらきません。ストップウォッチを確認してください。 → ストップウォッチのリセットのしかた P.34
- ※ 東京（日本）以外の地域に時差を設定すると、電波受信の機能は、はたらきません。時差の設定を確認してください。 → ⑫ 時差を設定する

**受信のときは、時計を電波を受信しやすい場所に置き、動かさないようにします。 → 受信しやすくするために P.17**

### ■ 強制受信

自動受信以外に、いつでも任意に電波を受信させることができます。 → 強制受信のしかた P.64

- ※ 受信の成否は受信環境によって左右されます。 → ⑧ 受信しにくい環境
- ※ 受信範囲の外では電波の受信はできません。 → ⑥ 電波の受信範囲について
- ※ 受信に成功しても時刻・日付が合わないとき → こんなときは：時刻、針のずれ P.84、日付のずれ P.86

## 6 電波の受信範囲について 取扱説明書 P.16

送信所からの受信範囲のめやすは、約 1,000km です。(各送信所を中心に半径 1,000km)



NICT (情報通信研究機構) により運用されています。  
福島：おたかどや山 標準電波送信所 周波数：40 kHz  
九州：はがね山 標準電波送信所 周波数：60 kHz

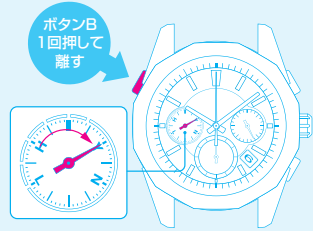
※ NICT: National Institute of Information and Communications Technology  
※ 受信範囲のめやす内でも、条件 (天候・地形・建造物・方角などの影響) により、受信できない場合があります。 → ⑧ 受信しにくい環境

## 7 受信ができていないか確認する 取扱説明書 P.20

### ■ 受信結果表示について

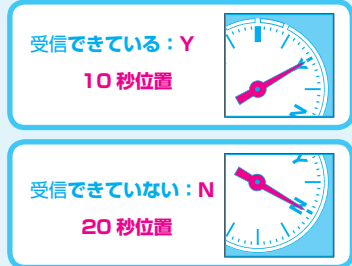
最後に受信した結果（成否）を秒針が5秒間表示します。

#### ① ボタンBを1回押し、離す



※ ボタンBを押し続けると、強制受信の動作に入ります。

#### ② 秒針が受信結果を示す



※ 5秒経過、または途中でボタンBを押すと時刻表示に戻ります。

### 受信結果がYになったときは

- 受信ができています。そのままお使いください。  
※ 受信に成功しても時刻・日付が合わないとき → ⑧こんなときは: 時刻、針のずれ P.84、日付のずれ P.86

### 受信結果がNになったときは

- 時計を置く場所や向きを変えてから、受信させてください。  
受信範囲のめやす内でも、条件（天候・地形・建造物・方角などの影響）により、受信できない場合があります。 → ⑧ 受信しにくい環境  
また、受信範囲の外では電波の受信はできません。 → ⑥ 電波の受信範囲について
- 東京（日本）に時差を設定してから、受信させてください。  
東京（日本）以外に時差を設定すると、電波を受信できません。  
時差の設定を確認してください。 → ⑫ 時差の設定
- 違う時間帯に受信させてください。（強制受信の場合）  
同じ場所でも時間帯によって受信環境は異なります。  
電波の特性により、夜間のほうがより受信しやすくなります。
- 電波受信できない地域・場所でお使いのとき、またはどうしても受信がうまくいかないときは、手動で時刻を合わせてください。 → 手動時刻合わせのしかた P.66  
→ 手動日付合わせのしかた P.68

## 8 受信しにくい環境 取扱説明書 P.18

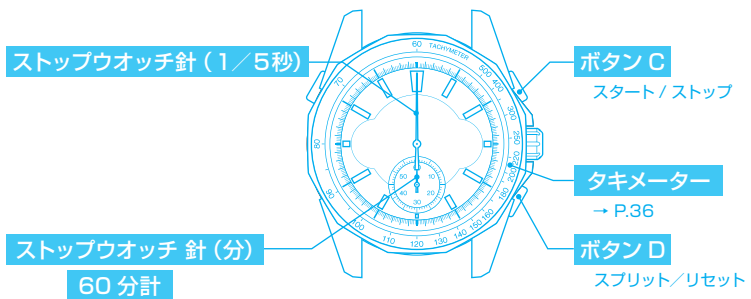
- ・テレビ、冷蔵庫、エアコンなど家庭電化製品の近く  
・携帯電話、パソコン、FAXなどOA機器の近く  
・スチール机などの金属製の家具の上や近く
- ・工事現場、交通量の多い場所など、電波障害の起こるところ
- ・高圧線やテレビ塔、電車の架線の近く
- ・ビルの中、ビルの谷間や地下
- ・乗り物の中（自動車、電車、飛行機など）

受信のときは、このような場所を避けてください。

## 9 ストップウォッチ機能について 取扱説明書 P.28

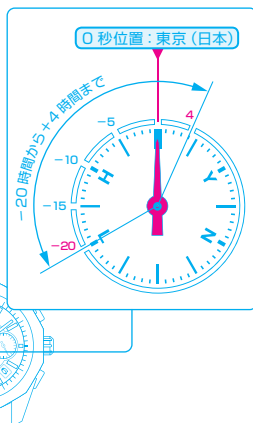
1 / 5 秒単位で計測できます。  
計測時間は、60分です。  
6時間計測後、自動的にリセットされ、0位置に停止します。

※ ストップウォッチ1 / 5秒針は、60分経過後に自動的に0秒位置で停止します。  
再度、計測中にストップまたはスプリット操作があった場合、その時の計測時間を表示します。  
再スタート後、またはスプリット解除後も最大60分間は連計します。



## 10 時差修正機能の特長 取扱説明書 P.22

- 日本を基準にして、海外の時刻に合わせます。  
1時間単位で海外の時刻に合わせることができます。  
世界のほとんどの地域は、1時間単位の時差になっています。  
日本からみた世界各地の時差は【-20時間から+4時間】です。
- 時差を設定すると、自動で目的地の時刻を表示します。  
時差修正機能のモードでは、秒針の位置が時差を表わします。  
秒針をめやすにボタンを操作して、時差を設定してください。  
東京（日本）以外の地域に時差を設定すると、電波受信の機能ははたらきません。



- ⑫ 時差を設定する
- ⑪ 世界の主な地域の時差一覧

## 11 世界の主な地域の時差一覧 取扱説明書 P.26

東京（日本）以外の地域（タイムゾーン）に時差を設定すると、電波受信の機能ははたらきません。

時差設定 秒針位置	日本からの 時差	代表都市名(タイムゾーン)	時差設定 秒針位置	日本からの 時差	代表都市名(タイムゾーン)
51秒	-9時間	★ロンドン/UTC	51秒	-9時間	★ロンドン/UTC
52秒	-8時間	★パリ/ベルリン	50秒	-10時間	★アゾレス諸島
53秒	-7時間	★カイロ	49秒	-11時間	(リオデジャネイロのDST)
54秒	-6時間	★モスクワ	48秒	-12時間	★リオデジャネイロ
55秒	-5時間	ドバイ	47秒	-13時間	★サンティアゴ
56秒	-4時間	カラチ	46秒	-14時間	★ニューヨーク
57秒	-3時間	ダッカ	45秒	-15時間	★シカゴ
58秒	-2時間	バンコク	44秒	-16時間	★デンバー
59秒	-1時間	香港	43秒	-17時間	★ロサンゼルス
0秒	±0時間	東京(日本)	42秒	-18時間	★アンカレッジ
1秒	+1時間	★シドニー	41秒	-19時間	ホノルル
2秒	+2時間	ヌーメア	40秒	-20時間	ミッドウェー島
3秒	+3時間	★ウェリントン			
4秒	+4時間	(ウェリントンのDST)			

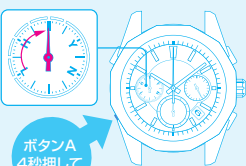
★印の地域ではサマータイムが導入されています。  
(08/12月現在)

※ 各表示はモデル(デザイン)によって異なる場合があります。(2014年4月現在)

## 12 時差を設定する 取扱説明書 P.24

### ① 秒針が停止するまでボタンAを押して(4秒)、離す

▶ 秒針が動いて、時差修正のモードに入ります。

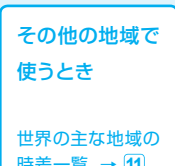
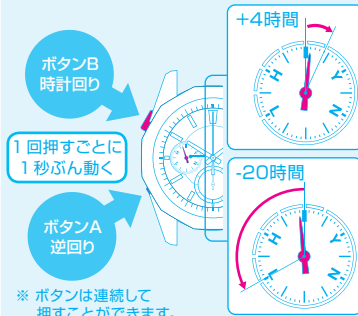


- ※ 針が動いていない状態が10秒以上続くと自動的に時刻表示に戻ります。  
操作途中のときは、①から操作をやりなおしてください。
- ※ ストップウォッチがリセットされていないときは時差を設定できません。(秒針が停止しません。)  
ストップウォッチをリセットしてから操作をしてください。 → P.34

### ② ボタンAまたはボタンBを押して秒針を動かし、時差を設定する

東京（日本）以外の地域に時差を設定すると、電波受信の機能は、はたらきません。

▶ 秒針の1秒ぶんが、時差の1時間ぶんです。



針が動いていない状態が10秒以上続くと自動的に時刻表示に戻ります。  
操作途中のときは、①から操作をやりなおしてください。

### ③ 時分針の動きが止まると10秒後に自動的に時差修正モードが終了

▶ 日付が変わる場合は、そのあとで日付が動きます。

※ 日付が動いている間は、ボタン・りゅうずの操作はできません。

※ 海外から日本に帰国するときは時差を【0秒位置: 東京(日本)】に設定してください。